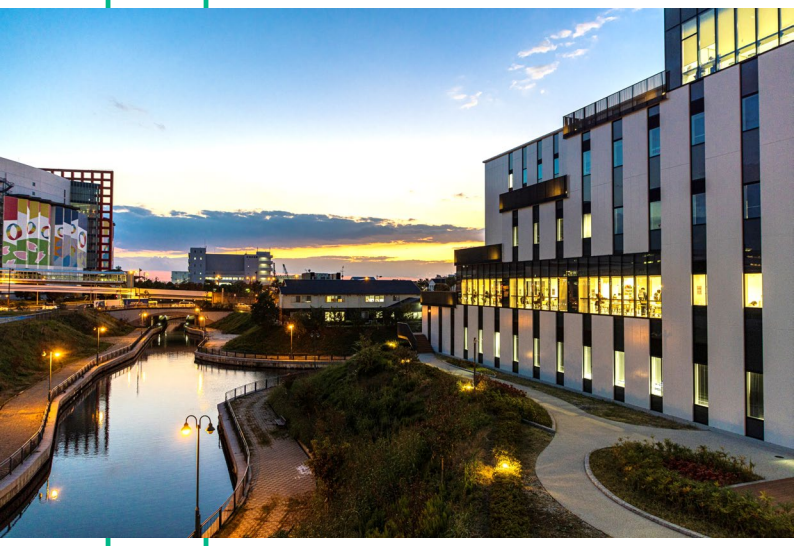
2022年度版

森ノ宮医療大学
地域・社会連携事業報告



もりのん作者：松尾美羽さん（診療放射線学科）／めでぃぐろう作者：平田綾乃さん（理学療法学科）

想いのすべてを、医療の力に。

森ノ宮医療大学

学長 挨拶

学長／医師
青木 元邦 Aoki Motokuni

2022年度、本学は開学15周年を迎えました。開学時わずか2学科の大学が15年を経て、3学部7学科・大学院・助産学専攻科を擁する2000人規模の大学までに発展できたこと、在学生や卒業生の皆さん、保護者の皆様、医療機関の皆様、そして地域の皆様のご理解とご支援に深く感謝を申し上げます。

2022年度も、優れた医療教育・医学研究の展開のみならず、社会貢献の責務を果たすことにも注力し、積極的な地域・社会連携事業を実践してまいりました。特に11月には森ノ宮医療大学附属大阪ベイクリニックを開設し、地域の皆様の健康支援もスタートいたしました。本学は医療機関にとどまらず、様々な企業や自治体とも連携し、幅広い事業展開をしております。今後とも、皆様のご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2022年度 地域・社会連携事業一覧

◆地域連携事業

実施日	学部・学科	内容
毎月1回	看護学科	介護予防教室「ほほえみクラブ」／子育て支援教室「もりもりひろば」
毎月1回	看・理・作	高齢者向け健康支援「もりもり まちの保健室」
毎月1回	理学療法学科	介護予防体操「もりもり元気体操」
6月1日／6月11日	看護学科	防災町歩き／地域合同防災訓練
6月10日	臨床工学科	サキシマベイエリア クリーンアップ大作戦！
6月23日／10月25日	全学	市民公開講座
9月10日／12月5日	看護学科	認知症サポーター養成講座・フォローアップ講座
8月21日	看・鍼	看護師ってどんな仕事？
10月15日／10月22日	全学	サキシマmeets！音楽祭／サキシマmeets！大運動会
10月30日	全学	生きた建築ミュージアム フェスティバル大阪2022
11月6日	臨床工学科	咲洲こどもEXPO2022への出展
1月29日	鍼灸学科	大阪市子ども会育成連合協議会 安全普及啓発講習会
2月11日／3月11、12日	鍼灸学科	住之江区民マラソン／南港ハピスタ

◆社会連携事業

実施日	学部・学科	内容
通年	全学	大阪・関西万博に関する取り組み
4月	臨床工学科	ディスポーザブル型尿器の共同開発
4月29日	診療放射線学科	市民公開講座「100歳まで元気でいられる方法」
5月9日～13日	全学	新型コロナウイルスワクチン職域接種(3回目)
6月5日	作業療法学科	脳卒中のリハビリ講座「川平法を自分たちで」
6月18日	助産学専攻科	東大阪市 こころとからだ講座
7月16日/10月23日/12月3日	工・放	ひらめき☆ときめきサイエンス
8月27日	臨床工学科	チュニジア訪問（アフリカ開発会議参加／Tunis El Manar大学訪問）
9月14日	作業療法学科	高齢者の安全運転教室「あなたの安全運転を守りたい」
10月13日	診療放射線学科	学生向け講座「生活習慣病と認知症の関係」
11月14日	作業療法学科	介護予防活動強化推進事業　大阪府アドバイザー
1月30日	作業療法学科	支援学校での教職員研修
2月20日	インクルーシブ医科学研究所	Style Tapingwearシリーズ共同開発
3月3日	附属クリニック・理	女性の健康週間 in Osaka2023 骨活マルシェ

◆地域とつながる －地域連携事業－

子育て支援教室 もりもりひろば　　看護学科教員、有志学生

毎月第2土曜日に、子育て支援事業として「もりもりひろば」を実施しています。地域の子育て中のご家族に対して、看護学科の教員が中心となって楽しみながら地域や親子の絆を深められる参加型の教室です。教員から育児に関するアドバイスを受けたり、家族同士が交流したりすることも可能です。看護学科以外の教員を招いたり、毎回工夫を凝らしたテーマを設定し、毎月来ていただいても役に立つ内容となっています。5月にはケーブルテレビでも紹介されました。

防災町歩き／地域合同防災訓練　　看護学科 福島教授、有志学生

6月1日に防災町歩き、6月11日に地域合同防災訓練が大阪市立南港北中学校で実施されました。防災まち歩きでは、本学学生が中学2年生を引率して、実際に自分たちの町を歩き、災害時に気を付けるべきことを確認しながら防災マップを作りました。地域合同防災訓練では、地域の方々が避難者という設定で、中学3年生が体育館で避難所の開設・運営を行い、受付や救護などの役割の確認をしました。本学学生も中学生たちの指導のお手伝いをしました。中学生の防災意識を高めることができたいい授業となりました。

サキシマベイエリアクリーンアップ大作戦！　　臨床工学科有志学生

6月10日に「第3回サキシマベイエリアクリーンアップ大作戦！」が実施され、本学臨床工学科の学生も参加しました。この活動は、コスモスクエア地区のまちづくりを推進するコスモスクエア開発協議会主催で、日本財団と環境省が共同で行う「春の海ごみゼロウィーク2022」の趣旨に賛同して実施されています。街中のごみが流れ着いて海ごみになっており、街中のごみを拾うことで海ごみを減らすことを目的としています。学生たちは、近隣企業の従業員の方々と一緒に、一生懸命ごみ袋がいっぱいになるまでごみを拾っていました。

市民公開講座　　連携協定先研究者等、全学科教員、本学附属クリニック医師

6月23日に2022年度 第1回 市民公開講座「高血圧」を実施しました。男女ともに中高年から気になってくる方も多いテーマだったこともあり、83名の方にご参加いただきました。基調講演は日本高血圧協会理事長を務めた経歴を持つ、本学名誉学長荻原が担当しました。また相愛大学から、管理栄養士の先生にお越しいただき、食生活で気を付けたいことについてお話いただきました。

10月25日に開催した第2回「地域の健康を守る～大学附属クリニック開設記念～」は、過去最高の126名の方に参加いただきました。基調講演では、大学附属クリニックの院長と医師から、それぞれの専門に関するテーマでお話ししました。また講座後は、少しでも地域の皆様に訪れていただきやすくなるよう、クリニックの見学会を実施し、真新しい院内をご紹介させていただきました。

看護師ってどんな仕事？　看護学科教員、対象学生

8月21日に南港・咲洲地区の小学生を対象とした「看護師ってどんな仕事？」を実施しました。このイベントは、ＵＲ都市機構との連携事業である「おとなり連携団地制度」を利用して、大学近隣に下宿している本学学生が主体となって運営を行いました。夏休みの自由研究の題材にもなるような、楽しみながら看護の仕事に対する理解を深める約1時間のプログラムでした。看護師の仕事についての説明は、小学生に伝わりやすいよう、わかりやすい言葉でパワーポイントを使って紹介しました。いくつかの実習室で、実際の看護師の仕事も体験しました。参加した小学生たちの仕事選択のヒントにもなるイベントとなりました。

咲洲こどもEXPO2022への出展　臨床工学科教員、臨床工学科有志学生

11月6日、咲洲こどもEXPO2022がアジア太平洋トレードセンターで開催され、本学臨床工学科が「森ノ宮医療大学のお楽しみ実験SHOW!!」のブースを出展しました。この実験SHOW!!は2018年から実施しているもので、今回は新たに「ペットボトルで肺のモデルを作ろう！」と題して、押すと鳴き声が出る鶏のおもちゃとペットボトルと風船を組み合わせ、横隔膜の働きがわかる工作をしました。

昨年比2倍の約400名の方にお越しいただき、学生たちは小さな子どもでも理解できるよう説明の言葉を工夫したり、参加者の順番の管理も行うなど、考えながら能動的に動いている姿が印象的でした。

サキシマmeets！音楽祭／サキシマmeets！大運動会　有志教職員、有志学生

咲洲で働く・住む・学ぶ人々が気軽に交流できる場を作るサキシマmeets！において企画された音楽祭と運動会が行われました。

10月15日にATCのシーサイドテラスで行われた音楽祭では、本学近隣に本社のあるミズノ㈱の軽音部主導のもと、コロナ禍で多くの出演機会が失われていた、本学の軽音部の学生たちが演奏することができました。部長の学生は「今回出演させていただき本当にありがとうございました」と涙ながらに感謝を述べていました。

10月22日には本学体育館で運動会が行われました。近隣の企業や団体から14チーム100名以上の方が参加し、大盛り上がりとなりました。本学鍼灸学科のメディカルスポーツトレーナー研究会の学生たちも競技に参加しながら、怪我がないよう参加者の身体のケアを行っていました。大人から子ども、車いすに乗っている方など様々な人たちが楽しみながら一緒に汗を流した一日となりました。

南港ハピスタ　鍼灸学科有志学生

3月11日、「南港ハピスタ～野球場であそぼう！～」が南港中央野球場で開催され、本学鍼灸学科メディカルスポーツトレーナー研究会の学生がトレーナーブースとスポーツブースを出展しました。トレーナーブースでは、隣の庭球場で行われたテニス大会の参加者を対象にコンディショニング調整をサポートしました。またスポーツブースでは、子どもを対象にした「遊んで学べるコンディショニング講座」を野球場内で行いました。40名以上の子どもたちが参加し、学生にとっても貴重な学びの機会となりました。

◆社会とつながる －社会連携事業－

大阪・関西万博に関する取り組み　　全学

森ノ宮医療大学は、2025年に開催される大阪・関西万博のテーマが「いのち輝く未来社会のデザイン」ということで“万博に一番近い大学”として大会の機運醸成等に協力します。そこで、万博のテーマ実現に向けて活動する様々な団体の創出・支援を行うため、万博公式プログラムであるTEAM EXPO 2025の共創パートナーに登録されました。

また、本学の所在する咲洲地区全体での機運醸成の取組として「咲洲プレ万博」という官民連携のプログラムが2023年からスタートします。本学はその実行委員となっており、様々なイベントを企画・運営するだけでなく、実証実験を行う企業等に対して教員の知見を活かしたアドバイスやフィールドの提供も行っていきます。

ディスポーザブル型尿器の共同開発

臨床工学科
准教授　**藤江 建朗**

臨床工学科 藤江准教授が株式会社高木包装、日本電子精機株式会社とディスポーザブル型尿器の共同開発を行いました。従来のリユース型尿器は、使用後に洗浄・消毒・乾燥や保管という工程があり、業務の煩雑さ等の理由で消毒が不十分であると院内感染の危険性がありました。また、現在販売されているディスポーザブル型尿器についても、粉砕装置の設備投資や設置場所が必要であり導入が難しい病院もあります。そこで、安価である段ボールを用いて、使用後はそのまま医療廃棄物として簡単に廃棄できる尿器の開発を行うこととなりました。

開発した尿器の普及により、医療従事者の負担軽減や院内感染のリスクを減らすことにも期待しています。今後は、病院などへの試験導入とブラッシュアップを経て販売を目指す予定です。

本研究は、奈良中央信用金庫による「第14回ちゅうしん地域中小企業振興助成金制度（愛称"グッドサポート"）」において、「グッドサポート大賞（最優秀賞）」を受賞しました。

ひらめき☆ときめきサイエンス

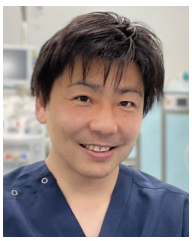
診療放射線学科
教授　**松﨑 伸介**

7月16日、10月23日、12月3日に「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI」を開催しました。このプログラムは大学等の研究機関で行っている科学研究費助成事業（科研費）の研究成果をもとに、小学5・6年生、中学生、高校生を対象に、直に見る、聞く、ふれることで、科学の面白さを感じてもらうプログラムです。

10月23日の回では、高校生を対象に松﨑教授による「病気を見つける！病気を知る！病気と闘う！―基礎医学研究から診断・医療・治療へ―」が行われました。新型コロナウイルスについての講義や、研究ツールを実際に触ってみたり、クイズをしたりと盛りだくさんのプログラムに参加者も一緒に楽しみながら学びました。 参加者からは「貴重な体験ができて、とてもいい勉強になった」と感想をいただきました。

また7月16日、12月3日は昨年に引き続き小学5・6年生を対象に臨床工学科 辻教授による「人工腎臓で学ぶ腎臓の不思議な働き」も行われました。

チュニジア訪問（アフリカ開発会議参加／Tunis El Manar大学訪問）



臨床工学科
教授　**辻 義弘**

8月27日にチュニジアで開催された第8回アフリカ開発会議（TICAD8）のヘルスケア部会に参加しました。今回のチュニジア訪問は、臨床工学技士の制度構築や人材育成が求められるチュニジアの現状の視察が目的で、本学が連携協定を締結しており、同じく臨床工学系の学部があるTunis El Manar大学（チュニスエルマナール大学）へも訪問しました。 Tunis El Manar大学では、現地の学生や教職員への講義も実施し、多くの方が日本に興味を持ってくださいました。

今回のチュニジア視察を経て、臨床工学技士だけではなく、臨床検査技師や診療放射線技師といった医療技術分野における国際協力体制の構築もまだまだ必要だと実感しました。世界の発展途上国ではまだまだ衛生環境や設備が整っておらず、医療のレベルが決して高いとは言えない現状があります。学生のうちからそういった世界の実情を知り、森ノ宮医療大学でしっかり学び、「世界から必要とされる日本人医療従事者」を目指してもらいたいと考えています。

高齢者の安全運転教室「あなたの安全運転を守りたい」

作業療法学科
助教　**鍵野 将平**

9月14日、和歌山県作業療法士会と和歌山県理学療法士協会、自動車販売会社ダイハツの共催で、高齢者対象の安全運転教室「あなたの安全運転を守りたい～運転を長く続けるために必要なこと～」が行われ、本学作業療法学科の鍵野助教が“高齢者健康体操プログラム”の講師を務めました。

近年、高齢者による運転中の事故やトラブルが増えており、世間ではこれらを未然に防ぐために高齢者による免許返納の動きがあるものの、地域によっては生活する上で自動車が必要不可欠であり、返納が困難な場合もあります。そこで、本教室ではドライビングシミュレーターや体力測定を通して自身の心身の状況や運転能力を把握したり、様々な能力低下を遅延させるための体操、能力低下を補う技術としてサポートカーの体験実施をしました。自動車運転を長く安全に続けていただくために、リハビリ専門職も協力できることがあります。今後もこのような企画を継続・推進していきたいと考えています。

Style Tapingwearシリーズ共同開発

インクルーシブ
医科学研究所
所長　**工藤 慎太郎**

2月20日、株式会社MTGと共同開発を行った、歩行時も正しい姿勢に導いてくれるウォーキング用の2商品「Style Tapingwear Leggings」と「Style Tapingwear Socks」が、発売されました。これらの商品は、株式会社MTGによる姿勢サポートブランド「Style」から新たに展開されたシリーズ「Style Tapingwear」の商品であり、このシリーズのコンセプトである独自の”テーピング理論“について共同で開発を行いました。

テーピングをすることで正しい姿勢で効果的な運動が期待できますが、毎回テープを貼りかえる必要があったり、自分で貼るのは難しいという問題もありました。そこで、テーピングを模した靴下とレギンスを制作するのはどうかと考えました。このようなコンセプトの商品は他にもあるものの、この商品のように効果検証を重ね、エビデンスに基づいたものはあまりありません。健康長寿社会の実現に向けて、これからも信頼性の高いエビデンスに基づいた知見により、社会に還元していきたいと考えています。

介護予防活動強化推進事業　大阪府アドバイザー

作業療法学科
教授　**由利 禄巳**

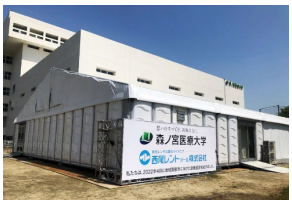
11月14日、大阪府介護予防活動強化推進事業として「高齢者が元気になれる短期集中予防サービス利用促進研修会」が國民會館で行われ、作業療法学科 由利教授が講義を行いました。これは由利教授が、介護予防活動強化推進事業の大阪府アドバイザーとして行っている取り組みの一環であり、介護老人保健施設ハーモニィーでの短期集中予防サービス（通所型サービスC）の実践効果を分析した結果を発表しました。通所型サービスCについての理解・利用の促進ができるよう、主に行政の介護支援事業に関わる人々が50名以上参加しました。

◆企業・行政とつながる －2022年度の連携協定－

西尾レントオール株式会社

西尾レントオール株式会社

4月26日、西尾レントオール株式会社と地域・社会貢献、研究・医療・教育・文化の振興、人材交流・育成等の分野において、連携協定を締結しました。総合レンタル業を展開する西尾レントオールは本学キャンパス南側に2023年春、新たにR&D国際交流センターを建設し、今後本学と様々な取組を行っていく予定です。2022年度は、この協定に基づき、本学敷地内に仮設会場をご提供いただき共同で新型コロナワクチン職域接種を行ったり、工事現場の作業員を対象とした熱中症予防の共同研究を行いました。



阪和いずみ病院

医療法人　翠和錦秀会
阪和いずみ病院
HANWA IZUMI HOSPITAL

5月30日、阪和いずみ病院と保健医療・医学分野における共同研究の実施、阪和いずみ病院での本学学生の実習の実施や研究指導、保健医療・医学分野に関する講義・講演等を通じた人材の相互派遣、双方の施設の相互有効利用等を目的に連携協定を締結しました。

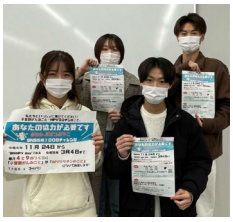
阪和いずみ病院は全人的な医療サービスを提供している、全国でも有数の精神科の専門医療施設であるため、本学の総合リハビリテーション学部を中心に、学生たちの更なる学びを促進できるよう連携して取り組みを行っていきます。

大阪市

OSAKA CITY
大阪市

9月16日、私学では初の大阪市全域との包括連携協定を締結しました。大阪市との協働による活動を推進し、地域の様々な課題に対応するなど、市民サービス向上や地域活性化に向けた取組を推進していきます。

2022年度は、連携取組としてHPVワクチン接種の啓発を学生会やクラブ活動で運用しているSNSアカウントで発信したり、性感染症予防の啓発への協力を行いました。また、大阪市主催の女性の健康習慣をテーマにした「骨活マルシェ」へ健康相談ブースの出展を行いました。



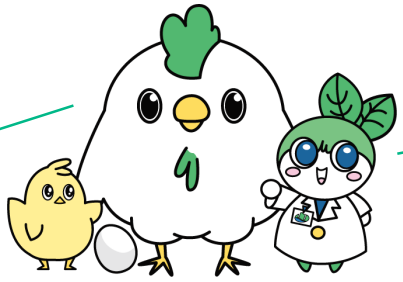
From Morinomiya

大学公式マスコットキャラクターが誕生しました！

大学創立15周年記念事業の一環として、在学生・卒業生・教職員をはじめ大学関係者から公募を実施。今後の更なる発展と、未来の医療に貢献できる医療人の育成を目指し、「森ノ宮医療大学」の魅力と情報をPRできるマスコットキャラクターを募集し、投票の結果、学生が応募した「めでぃぐろう」と「もりのん」に決定しました。

■ めでぃぐろう

医療の「Medical」と成長の「Growth」を掛け合わせて「めでぃぐろう」。どこかからやってきて大学に住みつき子育てを始めた大きなニワトリ。



■ もりのん

森ノ宮医療大学の「森」から植物を取り入れ、「双葉」は物事の始まりを意味するため、「成長していく」という想いが込められた妖精。

■ 大学附属大阪ベイクリニック

2022年11月に開院しました。内科・循環器内科・整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科があり、MRIや超音波検査など高度な医療機器を備えています。また調剤薬局が併設されており、お薬の相談のみでもお越しいただくことが可能です。

HP：https://www.morinomiya-u.ac.jp/osakabay-clinic/
TEL：06-6655-0057

■ 鍼灸臨床センター

鍼灸学科のある森ノ宮医療大学では、鍼灸師の国家資格をもった大学教員や研究員らが治療にあたり、国内外の最先端の研究成果をいかした治療を行います。開院時間や治療費についてはHPをご覧いただくか、お電話にてご確認ください。

HP : https://www.morinomiya-u.ac.jp/institution/cosmos.html
TEL : 06-6616-6933

■ さくらカフェ（桜棟2F）

平日　（土日祝日、大学閉館期間を除く）
カフェ営業　10:20～16:00

■ メディカフェ（食堂棟）

平日　（土日祝日、大学閉館期間を除く）
ランチ営業　11:00～14:45（LO／14:15）

森ノ宮医療大学 地域・社会連携事業報告 2022年度版
2023年6月発行
発行：森ノ宮医療大学 地域連携センター／事務局企画課
〒559-8611 大阪市住之江区南港北1-26-16
TEL : 06-6616-6911
HP : https://www.morinomiya-u.ac.jp/

想いのすべてを、医療の力に。
森ノ宮医療大学